

## Kansai University Psychological Research

**Keigo YAMAMOTO****Jin OTA****Shingo ABE**

The relationship between fear of negative evaluation and aggressive behavior:  
Differences in the relationship according to giving and receiving social support ..... 1

**Masashi KUSHIZAKI**

The Relationship between Emotional Contagion, Sense of Rhythm,  
and Chronotype ..... 9

**Kumiko FUKUROMOTO****Shingo ABE**

Classification of Prayer ..... 23

**Yusuke MURAKAMI**

The relationship between thinking about existential questions in a meaning-oriented  
education and subjective adjustment in university and self-concept clarity ..... 31

**Hiroki HOSOGOSHI****Mirei HASHIMOTO**

Effects of Positive Reinterpretation of Stressful Events on Emotions:  
An Attempt at Expressive Writing about Daily Hassles for College Students..... 39

**Goh MATSUDA****Takashi AKIYAMA**

A relationship between posture during smartphone use and risk judgment:  
Using Bayesian expectancy valence model of the Iowa gambling task ..... 55

Summaries of Doctoral Dissertations and Master's thesis ..... 61

## 関西大学心理学研究

第15号 2024年3月

**山本圭吾・太田 仁・阿部晋吾**

評価懸念と攻撃行動の関連性  
—— ソーシャルサポートの授受による関連性の差異 —— ..... 1

**串崎真志**

情動伝染, リズム感, クロノタイプの関連 ..... 9

**袋本久美子・阿部晋吾**

祈りの分類 ..... 23

**村上祐介**

意味志向教育における実存的問いの探究と適応感, 自己概念の明確性の関連 ..... 31

**細越寛樹・橋本美玲**

ストレスフルな出来事に対する肯定的再解釈が感情に与える影響  
—— 大学生のデイリーハッスルズに対する筆記表現法の試行 —— ..... 39

**松田 剛・秋山 隆**

スマートフォン利用時の姿勢によるリスク判断傾向の変化  
—— Iowa Gambling Task とベイズモデルを利用した検討 —— ..... 55

博士論文・修士論文抄録集 ..... 61

## 編集委員会

---

脇田貴文\* 申崎真志 藤里紘子 山下直人 (\*編集委員長)

## 編集規程

---

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集、掲載可否や掲載区分の決定は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文、および本研究科の修士論文と博士論文の抄録の掲載にあてる。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
4. 論文の第一著者となれるのは、原則として前記の教員、大学院生、および研究生とする。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
5. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
6. 本誌は、国内外の心理学関連学会の研究倫理および出版倫理を遵守した研究を掲載する。
7. 論文は、発行に支障のない範囲内であれば、字数は問わない。
8. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き（2022年度版）」に準拠したものとする。この手引きで規定されていない事項、および未刊行物の引用については、Publication Manual of the American Psychological Association (7th Ed.)（日本語版は『APA論文作成マニュアル第3版』）に準じる。ただし、投稿には指定のテンプレートを用い、執筆者の役割分担、他の業績との重複の有無、助成金・利益相反の有無などを明記する。
9. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
10. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
11. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。関西大学心理学研究科は電子掲載の権利を有する。ただし、内容についての責任は著者が負う。

(2023年5月17日改訂)